

第24回おの100リーダー養成カリキュラム (Ver. 1)

|               | 日程       | 会場       | 内容  | 目的   | 概要  | 効果  |  |
|---------------|----------|----------|---|--|---|---|--|
| コミュニケーション能力開発 | 第1回研修    | 5月10日(日) | 向東公民館   | オリエンテーション<br>・趣旨説明<br>・スタッフ規定の確認<br>・教育のあり方<br>・自己確認書の作成<br>参加型セミナー<br>『ものの観方・考え方』 | ○事業の本質について習得する。また、事業への参加意識の確認を行う。<br>○大きな視野で一切の先入観に囚われず、偏った考えを捨てて客観的に四方八方、上からも下からも物事を観て、自分の価値観と異なったものに出会ったときにそれを否定しないで謙虚に受け入れることが大切であるということに気づき、人間としてのものの観方や考え方を学ぶ。   | ○事業趣旨を理解すると共にスタッフとしてのあり方を確認します。<br>○受講者全員に自らの意志で積極的に謙虚な気持ちで受講してもらい、グループディスカッションを行うことにより、自分の観念を全て取り払い、物事を謙虚に見つめ、自在に見ていく必要性を感じ取ってもらう。   | ○行動をおこす際に『何のため、誰のため』を常に念頭に置いて行動することの大切さが理解できると共に活動する仲間とのスキミングが図れる。<br>○自分自身の現状を認識し、目標を確認することで、今後の取るべき行動の動機づけとなる。<br>○一人の人間として謙虚に客観的に物事を観て、持続可能な地球社会を創るため、魅力あるまちづくりをしていくため、自らを成長させていくため活用できる。 |
|               | 第2回研修    | 5月17日(日) | 向東公民館   | 参加型セミナー<br>『人との関わり方・伝え方』<br>『公共心とは』  | ○すべての人が持っている無限の可能性を認め、協働的な人間関係を構築し、個人の自己実現をサポートすると共に、創造力豊かな知力を兼ね備えた自立型の人間を育てる。また、相手の話を良く聴き、感情を上手にコントロールして論理的な説明ができる人間を育てる。<br>○個と公の関係を認識して公共心にあふれた安心感や安定感のある社会や国家を創っていくために地球のシステムを再認識し、恩恵を受けてその中に生かされている自分自身を再認識する。 | ○人と積極的に関わる上での「質問のスキル」、「確認のスキル」、「傾聴のスキル」の大切さについて学習し、個人の自己実現をサポートするシステムについて学ぶ。そして、人に説明する上での明確な表現力、イメージすることの大切さについて学習し、人との関わり方・伝え方の重要性に気づいてもらう。<br>○受講者全員に自らの意志で積極的に謙虚な気持ちで受講してもらい、グループディスカッションを行うことにより、全てのものに感謝し、ご縁を大切に行動し続けることの大切さについて気づいてもらう。 | ○人と積極的に関わり、積極的に伝え、すべての市民を視野に入れた運動が展開できるような「自立型人材」への変革が望める。<br>○自分以外の有形無形のありとあらゆるもの他力をいただき、援助をいただいで生かされているということに気づき、感謝をすることができる。  |
|               | 第1回面接    | 5月23日(土) | 向東公民館   | 面接<br>ルートマップ作成   |   | 自己確認書により”今、ここ”を確認する。<br>(本番での役割希望等を面談する。)   |  |
|               | 第3回研修    | 5月24日(日) | 向東公民館   | レクリエーション指導<br>参加型セミナー<br>・交流分析   | ○アイスブレイクゲーム、コミュニケーションゲーム、トラストゲームの進行手順を学ぶ。<br>○今、ここを生きることの大切さを学ぶと共にストローク(心の栄養)の意義について理解する。   | ○レクにおける心構えを学ぶ。<br>また、レクの手法及び進行を確認する。<br>○エゴグラム、ストロークを中心に交流分析についてレクチャーする。  | ○参加者の雰囲気や和らげ、絆を深めるゲームを体得できる。<br>○やる気を引き出し、人間関係を好循環に導くことができる。   |
|               | 第2回面接    | 5月30日(土) | 向東公民館   | 面接<br>ルートマップ作成   |   | 自己確認書により”今、ここ”を確認する。<br>(本番での役割希望等を面談する。)   |  |
|               | 第4回研修    | 5月31日(日) | 向東公民館   | ルート確認(横断練習)  | ○ルートの安全確認を行う。   | ○100km徒歩の旅のコースを実際に歩いてみる。<br>給水、声掛け、車の往來を体感し、自分自身の体力についてもチェックする。   | ○子ども目線に立った声掛けを考えることができるようになる。<br>○安全第一で歩く上での留意点に気づくことが出来る。   |
|               | 第5回研修    | 6月7日(日)  | 向東公民館   | 参加型セミナー<br>・管理手法<br>・プレゼンコンテスト<br>・ホウレンソウセミナー                                      | ○報告・連絡・相談について学び、組織運営に活かす。<br>○”みんなの中の自分””自分の中のみんな”を再認識する。   | ○ケーススタディにより気づきを得て、行動改善につなげる。  | ○相手の立場に立って行動できるようになり、組織運営をスムーズに進めることが出来るようになる。   |
| 第6回研修         | 6月14日(日) | 向東公民館    | 参加型セミナー<br>・リーダーシップとは<br>・プレゼン大会《決意表明》        | ○リーダーシップとは何かを学ぶ。<br>○一人ひとりの本気度を確認すると共にモチベーションを上げる。                                 | ○リーダーに必要な能力や資質について確認する。また、リーダーの使命や資格を再確認する。<br>○感動創造の旅に対する決意をスピーチする。  | ○事業においてリーダーシップを発揮するという事はどのようなものなのかを理解すると共に社会におけるリーダーシップのあり方を理解できる。<br>○切磋琢磨する関係を構築すると共にチームとしてのレベルを向上させる。  |  |
| 第7回研修         | 6月21日(日) | 向東公民館    | 【係り発表】<br>《係り別ミーティング》<br>係り別目標・今後の作業指示・報告セミナー | ○使命感を持った行動を一人ひとりが考える。  | ○感動創造の旅の係りを発表します。   | ○組織運営の在り方、個と公の調和について考えるきっかけとなる。<br>○係り毎の目標を明確にしてチームビルディングを行うことができる。<br>○組織の運営に関して、理解することが出来るようになる。  |  |